県内活動事例お知らせ紹介

|  |  |
| --- | --- |
| お知らせのタイトル | **最上町広域協定の活動事例を紹介します。（2022.11）** |
| 概　　要 | 最上町広域協定の多面的機能支払交付金における地区ごとの活動事例を紹介します。各活動組織の参考になれば幸いです。 |
| 内　　容 | **※最上町広域協定 活動通信 NO.7より****「野頭環境保全会」の取組みと活動写真の一部を紹介します。**★活動の経緯　平成24年4月7日設立し、代々「春普請」として全戸による水路保全の共同作業が受け継がれてきましたが、高齢化に伴い維持が難しくなることから、多面的事業の活用により組織として取り組むことで、次代へ引き継げるものと考え保全会を結成しました。保全会の構成は、地区内全戸のほか、団体として自治会、消防団、子供育成会、観桜会の4団体で構成されています。**〇**主な活動内容と集落の取り組み　生活水や防火用水確保のため代々行われてきた「春普請」、春までの水の確保に向け水路周りの草刈りなど支障物の撤去を行う「秋普請」、農地や農道保全のため「草刈り作業」を毎年の基本作業としています。ほかには、農道補修、防草シート設置、ふれあい公園・公民館管理、花いっぱい運動、災害復旧活動など、構成団体との協力のもと様々な活動を行っています。特に、親桜会は、白川河川敷を活用した桜並木「白川桜の散歩道」の維持・管理、夏場の河川敷の草刈り作業は、近隣農地への鳥獣害被害防止にも一役かっています。　　**〇今後の展開**　　　組織化により様々な作業が迅速にできるようになりましたが、今後は担い手の減少や高齢化に伴い、同様の共同作業が維持していけるかが大きな課題となります。　共同活動でサポートする農地・水の保全活動がますます需要となります。構成員がやりがいを持って、楽しみながら活動できるような組織を目指すべく、研修会の充実や作業の効率化、構成員の同士の親睦など、活動のさらなる工夫が必要と感じています。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以　上 |